

## 閉会のことば



愛媛県農林水産研究所  
林業研究センター長  
**森信 光夫**

これで予定されていた交流集会はすべて終了しました。皆さんには、長い間たいへん熱心にご参加いただき、おかげで終えることができました。

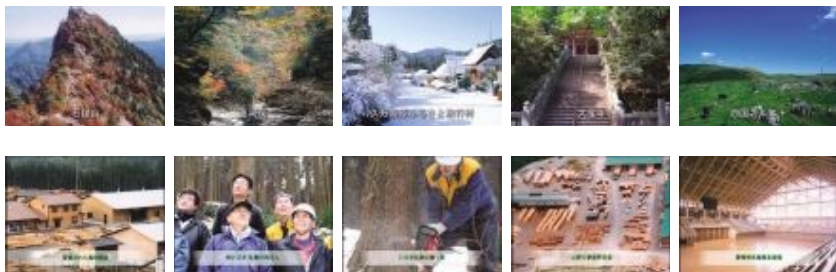
今日のお話、大沢元監督、泉先生のお話にもありましたが、元気を出して何とか頑張ろう、やる方法はあるぞ、というふうなことを思っていたいただければ、私ども主催者としても、うれしく思います。

今日は、北は青森県、南は熊本県まで、多数の方にご参加いただきました。もう一度皆さんと一緒に元気を出して明るい話題で、来年またお目にかかることを祈念しております。

これで本会の閉会のごあいさつとさせていただきます。どうも、みなさん、ありがとうございました。

## 開催地紹介

開催地である久万高原町は、豊かな自然と林業の町です。第32回全国育樹祭の式典会場である愛媛県武道館にも久万高原町のスギが使われています。



## アトラクション

### 久万山五神太鼓(久万山五神太鼓保存会)



戦国時代、久万山大除城主大野直昌が土佐の豪族長曾我部元親との大野ヶ原笹ヶ峠の合戦で滅亡の危機に陥った際に、氏神の御加護を得んと、風雨雷鳴轟くなか、守護神・ダイバの面を小姓衆に付けさせ、太鼓・櫓を打ち鳴らし奇策をもって危機を脱したことから、以来、久万山五神の神々に感謝の気持ちを捧げたと伝えられ、久万山五神太鼓として受け継がれています。



久万山五神太鼓保存会代表 佐藤 豊

## 開催状況



愛媛県の森林・林業・木材産業等に関する資料等を展示するほか、県内の林業研究グループの活動状況などについて紹介しました。



木製プランターカバーは、久谷ふれあい林の間伐材を使用し、小中学校等の児童生徒が製作したものです。



全国育樹祭の会場は、県内14の農林系高等学校で構成する愛媛県学校農業クラブ連盟が栽培したプランター2,000個分の花々が彩られました。



林業研究グループ女性会議による「山の幸」などの物販も行いました。